

# 天気のみカタ

## 南国では「桜」春でなくなくなる?

イコール



雪の季節が過ぎ、日中はポカポカと暖かい春がやってきました。年度の節目で慌ただしいころですが、多くの花が街を彩る季節でもあります。特に桜は春の楽しみのひとつです。私たちが気象予報士にとって



鹿児島 さくら(ソメイヨシノ) 標本木

発表となりました。桜は夏に休眠期間に入り、秋から次第に葉が減って厳しい寒さの冬に目を覚まします(休眠打破)。その後、暖かくなるとつぼみがすくすくと成長していきます。この春先の気温が、地球温暖化などの影響で高くなっているため各地で開花が早まっているのです。ただ、開花時期がほとんど変わっていない地点もあるのです。それは南国、鹿児島です。

鹿児島の開花日の記録では、1960年代は3月28日前後、1970年代は3月27日前後、そして近年の開花平年日は3月26日<sup>※1</sup>。年によって若干変動はあるものの、大きな変化は見られません。鹿児島の冬は比較的温暖で休眠打破のための寒さが足りません。県内の桜は春になっても目覚めが悪く、眠たい目をこすりながらゆっくりと開花準備を行います。温暖化の影響で春先の気温が高くなっているため、以前と開花日があり変わらないのはそのためなのです。一方で他の地点では年々早まっており、福岡や東京はもちろん、年によっては仙台や福島にも先を越されることも増えてきました。このまま、地球温暖化が進行すると鹿児島の桜はさらに休眠打破が難しくなり開花は遅れ、2100年ごろになると県内一部の地域では開花さえしなくなる可能性もあるといわれています。<sup>※2</sup>  
危機的状況にある鹿児島の桜ですが、実

も桜は非常に特別な存在で、毎年必ず聞かれる「開花日はいつになりそう?」という問いに答えるべく、大量のデータ分析や標本の観察などに全力を注ぎます。  
近年の桜の開花日は九州から関東にかけては3月中・下旬、特に小学校の卒業式が行われるころに集中しています。桜が咲くなかクラスメートとの別れ、とても風情があるものです。ただ、ご自身の経験を思い返すと、桜といえば卒業式よりは入学式の印象が強いという方も多いと思います。それはこれまでの開花記録からも示されており、東京の場合1960年代の開花日は3月30日前後でしたが、近年の開花平年日は3月24日<sup>※1</sup>で1週間ほど早まっています。1990年以降は東京に限らず全国的に顕著に早まっていて、一昨年は全観測地点のうち半数以上の28地点で観測史上最も早い

は春以外にも開花する季節があるのです。それは台風シーズンが終わりつつある9月下旬〜10月ごろ。本来の春とは異なる時期に咲くこの現象を「不時現象」といいます。県外でも稀に見られますが、鹿児島はほぼ毎年起こっているのです。その理由は台風。台風上陸数が全国トップの鹿児島では、必然的に暴風に晒されることが多くなります。それは木々にとっても非常に厳しい環境で、9月中には多くの葉が落ちてしまうのです。早くに葉が落ちてしまうことによ



秋に咲くソメイヨシノ(2022年9月22日薩摩川内市にて)

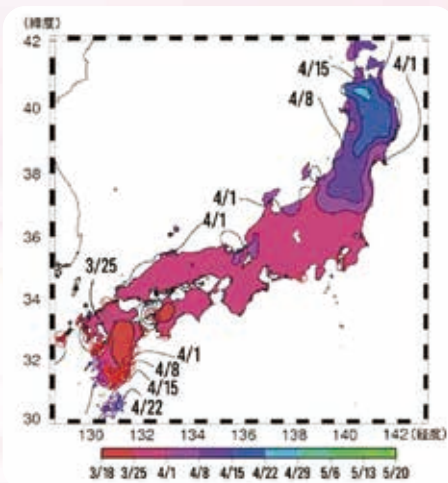


鹿児島随一の花見スポット「忠元公園(伊佐市)」



かみや あゆみ  
神谷 亜弓

茨城県水戸市生まれ。民間気象会社にて気象コンサル業務などに従事。その後 ABS 秋田放送(ラジオ)、とちぎテレビを経て2020年4月よりNHK鹿児島放送局で気象解説を担当。



2100年の桜予測開花日 鹿児島は4月後半で東北北部よりも遅くなるか(環境省『地球温暖化で桜の開花に異変!? 日本列島でいっせいか開花も?』より)

※2 参照「わが国のサクラ(ソメイヨシノ)の開花に対する地球温暖化の影響」(丸岡知浩・伊藤久徳、2009年)

※1 1991年~2020年の平均値